

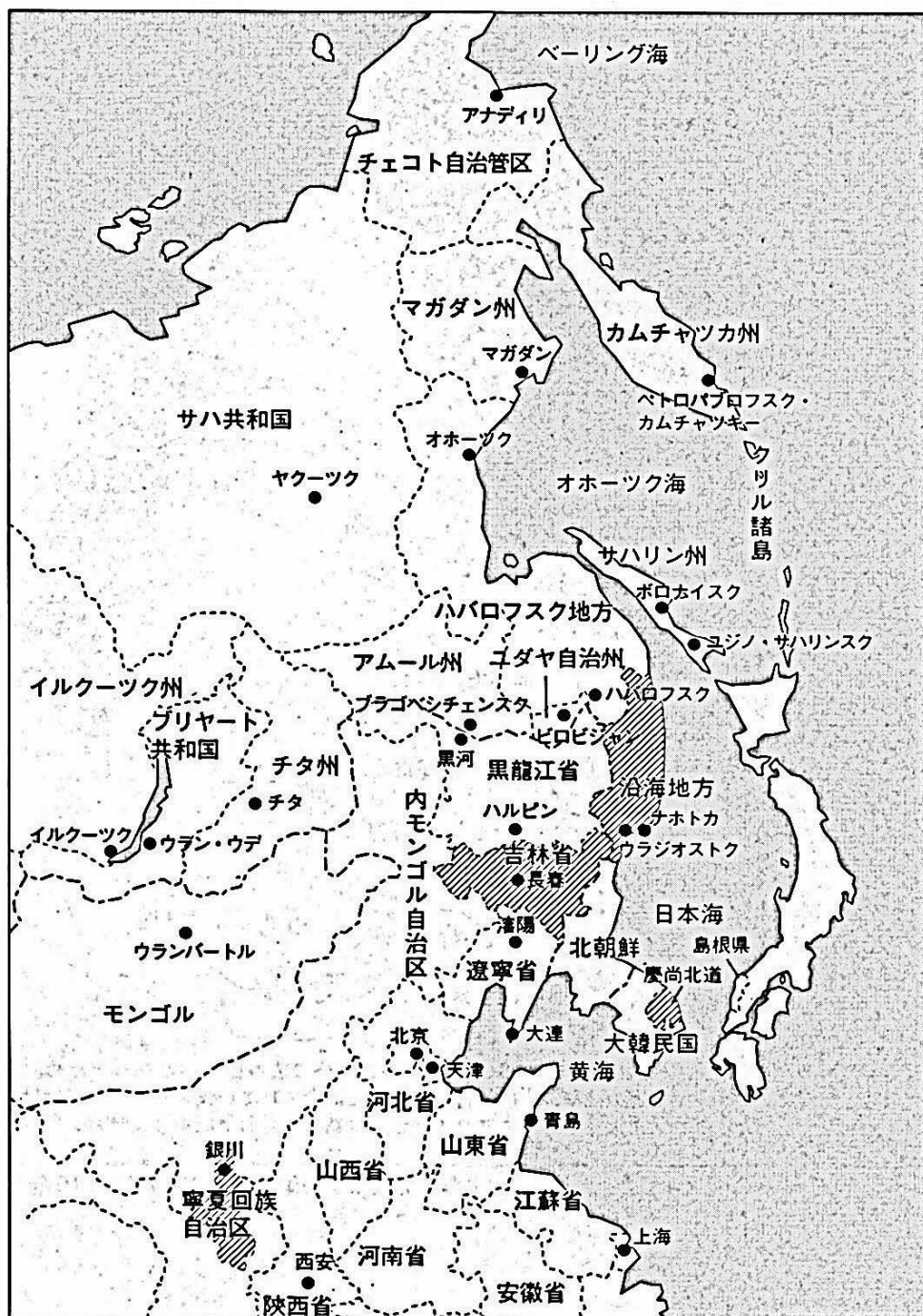
Ⅱ. 島根県の国際化の現状

1. 友好提携自治体との交流

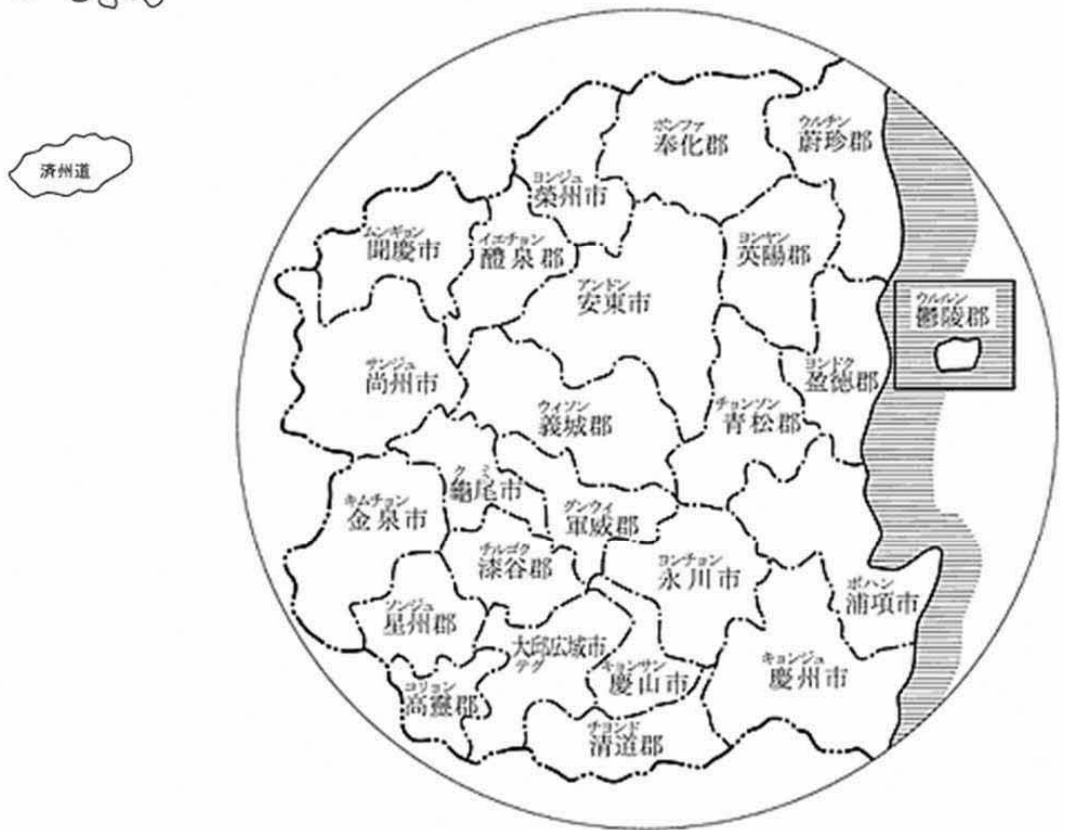
北東アジア地域を中心に国際交流を推進している本県は、次のとおり姉妹友好提携等を結んでいる。

韓国・慶尚北道	姉妹提携	1989 (H 元) 年 10 月 6 日
中国・寧夏回族自治区	友好提携	1993 (H 5) 年 10 月 6 日
中国・吉林省	友好交流に関する覚書 友好提携	1994 (H 6) 年 6 月 13 日 2018 (H30) 年 10 月 15 日
ロシア連邦・沿海地方	友好交流に関する覚書	1991 (H 3) 年 10 月 24 日

▼北東アジア地域地図



(1) 韓国・慶尚北道



※大邱広域市は1981年に道と同格の広域自治体となったため、慶尚北道の面積、人口等各種データには含まれていません。

① 慶尚北道の概要

1. 面積：19,035 km²（島根県の約 2.8 倍）
2. 人口：約 260 万人（2022. 12 現在）＊外国人住民は除く
3. 道庁所在地：安東市豊川面道庁大路 455
4. 道知事：李 喆雨（イ チョルウ）2018 年 7 月～（2018 年 7 月当選、2022 年 6 月再当選）
5. 地勢：慶尚北道は朝鮮半島東南部に位置し、首都ソウルから半径 170～430 km 内に位置。東側は日本海に接し、北側は江原道、西側は忠清北道と全羅北道に接している。また、南側は大邱広域市を囲み慶尚南道に接している。
6. 気候：大部分を山地に囲まれ、気温の差が大きく、年間降水量は 1,032 mm～1,291 mm で、内陸地方は夏が暑く、雨が少ない。
7. 産業：従来、第一次産業の就業比率が高かったが、2022 年には第一次産業 19.4%、第二次産業 20.1%、第三次産業 60.5% となり、第三次産業の比率が最も高くなっている。主要農産物は、りんご、ぶどう、ももなどでこれらは全国 1 位のシェアを占めている。工業については、積極的に工業団地を造成しており、韓国を代表する電子産業都市亀尾市、鉄工業を中心とする浦項市などを擁している。

② 「姉妹提携」調印までの経緯 【調印日：1989(H元)年 10 月 6 日】

年 度	時 期	内 容
1981(S56)	7 月	恒松知事が慶尚北道を訪問
1982(S57)	4 月	金 聖培 知事一行(5 名)が友好親善のため島根県を訪問
	6 月	水津教育長・高橋総務部長が慶尚北道教育委員会教育監に招待され慶尚北道を訪問、教育事情を視察
1988(S63)	8 月	島根県ユネスコ協会主催で第 1 回日韓親善島根少年の船派遣 1990(H2)年から(財)しまね国際センター主催で 2008(H20)年まで派遣
	10 月	環日本海日韓国際交流会議開催、同会議に出席していた地方行政同友会会長 金 甫 炫 氏の仲介で慶尚北道との姉妹提携への話し合いが進む
	3 月	県議会で澄田知事が大韓民国慶尚北道との姉妹提携を実現させたい旨表明
1989(H元)	6 月	大野総務部長が慶尚北道庁を訪問、姉妹提携の意向を伝達
	7 月	林 敬 鎬 副知事一行が来県
	8 月～11 月	慶尚北道公務員(4 班、約 120 人)が視察研修のために来県
	9 月	澄田知事を団長とする約 100 人の親善訪問団が慶尚北道を訪問
	10 月	金 相 祚 知事が来県、両県・道幹部や各界の代表者を迎えて姉妹提携調印式を実施、姉妹提携が実現し末永い交流を誓いあった

③ 主な交流事業（姉妹提携調印後）

ア. 訪問団等派遣・受入（2000(H12)年度以降）

(ア) 派 遣

年 度	時 期	人 数	内 容
2000(H12)	10 月	72 6	慶州世界文化エキスポ 2000 「日本の日」 関連事業参加 議会親善訪問団
2001(H13)	2 月		定例事務協議
2002(H14)	5 月	5	環日本海松江国際交流会議講師招請にあわせ親善訪問
2003(H15)	10 月	60	2003 慶州世界文化エキスポ 「日本の日」 への参加

年 度	時 期	人 数	内 容
2003(H15)	10月 2月	4	議会親善訪問団 定例事務協議
2004(H16)	5月		環日本海松江国際交流会議講師招請にあわせ親善訪問

(イ) 受入

年 度	時 期	人 数	内 容
2000(H12)	1月		定例事務協議
2002(H14)	1月		定例事務協議
2003(H15)	7月	6	議会親善訪問団
2004(H16)	8月 1月	1	島根県・慶尚北道姉妹提携15周年の記念にあわせ親善訪問 定例事務協議

イ. 職員の相互派遣

派 遣		受 入	
期 間	期 間	期 間	摘 要
	1990(H2).11.1～1992(H4).9.30		国際交流員として
1992(H4).4.1～1994(H6).3.31	1992(H4).10.1～1993(H5).9.30		
1994(H6).4.1～1996(H8).3.31	1994(H6).2.1～1995(H7).1.31		道派遣職員として
1996(H8).4.1～1998(H10).3.31	1995(H7).2.1～1997(H9).1.31		
1998(H10).4.1～2000(H12).3.31	1997(H9).2.1～1999(H11).1.31		
2000(H12).4.1～2002(H14).3.31	1999(H11).2.1～2001(H13).1.31		
2002(H14).4.1～2004(H16).3.31	2001(H13).2.1～2004(H16).2.24		
2004(H16).4.1～2005(H17).2.23	2004(H16).4.19～2005(H17).2.23		

ウ. 道職員国外職務訓練員の受入

期 間	研修機関
1996(H8)年6月～1997(H9)年7月	観光振興課
1997(H9)年7月～1998(H10)年6月	自治研修所

エ. 文化交流

島根県・慶尚北道交流美術展

島根県と慶尚北道の美術作家の交流とその作品を広く島根県・慶尚北道の人々に紹介することを目的として「島根県・慶尚北道交流美術展」を開催。相互に訪問団を派遣し作家同士の交流を深める。

回 数	開催年月日	開催場所	訪問団
第1回	1998(H10).8.13～19	島根県立博物館	慶尚北道 6名
第2回	1999(H11).7.12～17	亀尾市文化芸術会館	島根県 12名
第3回	2000(H12).7.25～30	島根県立美術館	慶尚北道 15名
第4回	2002(H14).7.25～29	亀尾市文化芸術会館	島根県 18名
第5回	2003(H15).7.23～27	島根県立美術館	慶尚北道 8名
第6回	2004(H16).7.23～27	安東市民会館	島根県 4名

オ. 教育学術交流

(ア) 県教育委員会と慶尚北道教育庁との友好交流協定の締結

1996(H8)年7月26日に教育行政分野の交流を一層推進するため、友好交流協定を慶尚北道におい

て締結し、1997(H9)年9月から教員の相互派遣を実施。

(イ) 島根県教育委員会古代文化センターと国立安東大学校附設民俗学研究所の学術交流

1996(H8)年7月13日、松江市において姉妹提携協定を締結。

(ウ) 島根県立大学と慶北大学校との交流

時 期	内 容
1999(H11)年 5月	島根県と慶北大学校との交流に関する協定を締結 専任教員派遣に関する協定を締結
2000(H12)年 10月	県立大学と慶北大学校が交流協定を締結
2001(H13)年 8月～	県立大学生が異文化理解研修で慶北大学校を訪問
	2001(H13)年：8名、2002(H14)年：12名、2003(H15)年：12名、 2004(H16)年：9名
2004(H16)年 4月	県立大学教授として慶北大学校 ^{ワン} ^テ ^{ワン} 王 泰雄 教授が就任（～2005(H17)年3月）
10月	県立大学・慶北大学校・吉林大学の共同シンポジウムの開催（場所：県立大学）
12月	学生交流に関する覚書を締結

(エ) 島根県立大学と慶尚北道との交流

時 期	内 容
1999(H11)年 10月 11月	日本国島根県と大韓民国慶尚北道との留学生交流に関する協定を締結 日本国島根県と大韓民国慶尚北道との両県道立大学の交流に関する協定を締結
2000(H12)年 4月	島根県と慶尚北道との留学生交流に関する協定に基づき慶尚北道から2名の留学生受入を実施、以降毎年2名ずつ受入れ
2001(H13)年 9月	県立大学と慶道大学が交流協定を締結
2002(H14)年 3月	慶道大学から事務職員1名を受入れ事務研修を実施
2003(H15)年 7月～ 8月～	慶道大学語学研修団が来学 2003(H15)年7月：19名 2004(H16)年6月：15名 県立大学生が儒教文化体験研修で慶道大学を訪問 2003(H15)年8月：17名、2004(H16)年8月：21名
2004(H16)年 9月	県立大学と慶道大学が交流協定を更新

(オ) 県立三瓶自然館と道自然学習院との交流

島根県は1995(H7)年度から環日本海地球環境行動ネットワーク構築事業の一環として、友好交流関係にある北東アジア地域の野生動物の調査研究、自然保護行政について、情報交換や検討協議を続けており、その成果により1999(H11)年3月に「島根県立三瓶自然館・慶尚北道自然学習院交流に関する協定書」を締結し、同年より毎年夏に両県道が相互に訪問して交流を深めている。

2003(H15)年7月31日～8月6日、島根県から小中学生29名、引率者5名の計34名が慶尚北道自然学習院を訪問。2004(H16)年7月29日～8月2日、慶尚北道青少年自然体験団38名が来県。

(カ) 水産交流

慶尚北道との姉妹提携以降、両県道の間で水産情報・水産技術等の意見交換を推進することにより友好親善と相互理解を深め、共通課題の解決を図ることを目的に水産関係者の交流を開始。1996(H8)年に「慶尚北道・島根県水産交流推進協議会」を設置し、水産関係者の相互訪問により協議会を実施。

2003(H15)年度：慶尚北道から4名が来県

2004(H16)年度：島根県から訪問団を派遣

カ. その他

(ア) エキスポ出展

(a) 1998 慶州世界文化エキスポ出展事業

1998(H10)年9月11日から11月10日まで、慶尚北道の主催で「'98 慶州世界文化エキスポー新千

年の微笑」が慶尚北道慶州市で開催された。島根県は、日本で唯一このエキスポの「姉妹地域館」にブースを出展。島根県と韓国との歴史的文化的な繋がりや深さを表現するため、加茂岩倉遺跡、神庭荒神谷遺跡から出土した銅剣、銅鐸、銅矛の青銅器レプリカを展示の中心とし、連日2万人を超える来場者に島根県の魅力と来県手段をPRした。また、10月17日の「日本の日」を中心に三刀屋太鼓、掛合太鼓が和太鼓を公演。このうち三刀屋太鼓の公演は、韓国全土にテレビで生中継された。

(b) 慶州世界文化エキスポ 2000 出展事業

2000(H12)年9月1日から11月26日まで「新千年の息吹」をテーマに慶州市で開催された。

1998(H10)年に続き島根県は「姉妹地域館」に出雲大社をイメージしたブースを出展し、島根の古代文化をとおして韓国との交流を紹介。10月27日～30日には、江口副知事を団長とする訪問団72名が出雲空港からのチャーター機で韓国に入り会場を訪れた。10月29日の「日本の日」には、訪問団代表の記念式典参加、益田市の「神和会」による石見神楽公演、出雲そばのそば打ち実演と試食会を開催し、会場の模様はラジオ生中継などをとおして県民に伝えられた。

(c) 慶州世界文化エキスポ 2003 参加事業

第3回目となる慶州世界文化エキスポが、2003(H15)年8月13日から10月23日まで「天馬の夢」をテーマに慶州市で開催された。島根県からは10月12日の「日本の日」にあわせ、今岡出納長を団長とする公式訪問団、三刀屋太鼓振興会、民間交流団体としてイワミ慶州エキスポ交流実行委員会及び安来節保存会加茂支部の計60名が訪問し、島根県の文化や観光、物産をPRした。

(イ) 新国際交流フォーラムへの参加

2001(H13)年10月22日～25日、慶尚北道において開催された「新国際交流フォーラム」へ県から3名が参加し、県の概要、施策について発表した。慶尚北道の姉妹提携自治体5カ国10名が参加。

(ウ) 島根県・慶尚北道姉妹提携 15 周年記念事業

2004(H16)年9月7日～8日に開催された第5回北東アジア地域自治体連合総会（中国黒龍江省ハルビン市）参加に先立ち、松尾副知事と李義根知事による記念会談を実施。15年の歩みを振り返るとともに、今後の交流促進について意見交換を行った。

11月3日に島根県民会館で開催された国際民俗芸能劇場「しまね座 2004」本公演楽劇「しまね大田楽」には、韓国芸総慶尚北道聯合會から伝統芸能団を招聘。韓国の民俗舞踊の他、インドネシアや島根県の参加者と共演した。また松江市内の小学校を訪問し、韓国の伝統芸能の紹介や、小学生による韓国舞踊の体験など、次世代を担う若い世代との交流を深めた。

一方、慶尚北道との草の根交流の促進を目的とした民間交流団体に対する経費一部助成を実施。ジャズ音楽でのセッションを通じた交流（日韓音楽交流実行委員会）、韓国人日本語学習者との交流（日本語ボランティアグループ“だんだん”）「日韓の女性の役割」をテーマに嶺南大学附属平生教育院との意見交換を通じた交流（出雲女性文化交流会と出雲オモニ会）のそれぞれが成功をおさめ、15周年記念に華を添えた。

なお15周年記念事業の実施にあたっては、両県道の協力により共通のロゴマークを作成した。



(エ) 技能交流

時 期	内 容
2000(H12). 4. 20～28	「韓日友好技能競技大会」に9名の選手団を派遣
2001(H13). 11. 22～28	「第21回技能グランプリ」に慶尚北道から6名の選手団を招聘
2002(H14). 4. 17～23	「慶尚北道－島根県友好技能競技大会」に7名の選手団を派遣
2003(H15). 10. 2～6	「日韓友好技能競技会」に6名の選手団を招聘

(オ) 在釜山日本国総領事館主催日本語弁論大会

1984(S59)年から在釜山日本国総領事館では管内（慶尚北道・南道、大邱・釜山・蔚山広域市）で日

本語を専攻している韓国人大学生を対象とした弁論大会を開催している。島根県では慶尚北道との姉妹提携が縁となり、1993(H5)年の第10回大会から後援し島根県知事賞を贈っている。

また受賞者を招致し、県内の視察やホームステイ等の交流を行っている。

(過去10年)

回数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第27回	2010(H22).10.9	環境生活部長	2011(H23).2.18~2.22
第28回	2011(H23).10.29	環境生活部長	2012(H24).1.27~1.31
第29回	2012(H24).10.28	環境生活部参事	2013(H25).1.18~1.22
第30回	2013(H25).11.2	環境生活部参事	2014(H26).1.10~1.14
第31回	2014(H26).11.8	文化国際課長	2015(H27).2.13~2.17

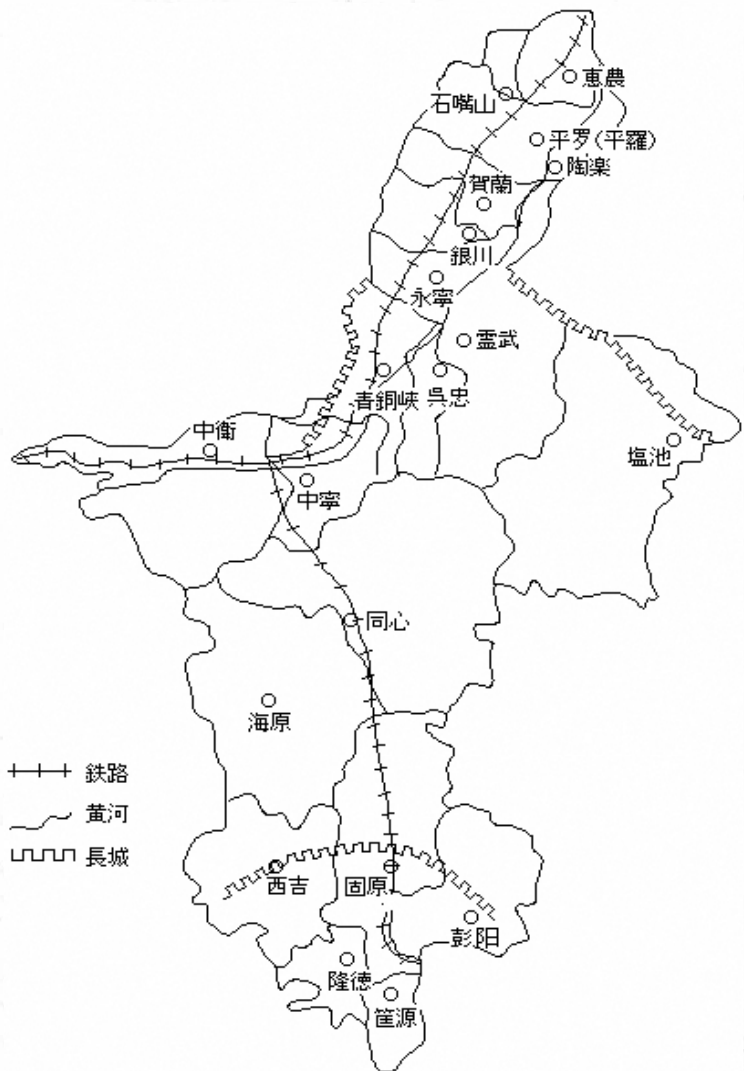
2015(H27)年は、日本文化に関連する部活動をしている高校生を対象とした「日本部活動大会」に名称を変え第1回大会が行われた。本大会においても後援し島根県知事賞を贈り、受賞者を招致した。

回数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第1回	2015(H27).9.19	国際交流グループリーダー	2016(H28).1.15~1.19

2016(H28)年からは、日本語や日本文化を学ぶ高校生を対象とした「日本クイズ大会」を後援し、入賞者に島根県知事賞を贈り、受賞者を招致した。

回数	開催年月日	参加代表者	受賞者の来県年月日
第4回	2016(H28).7.9	環境生活部参事	2017(H29).1.13~1.17
第5回	2017(H29).7.15	環境生活部長	2018(H30).2.2~2.6
第6回	2018(H30).7.14	文化国際課長	2019(H31).1.25~1.29
第7回	2019(R元).12.7	参加なし	2020(R2).1.31~2.4
第8回	2022(R4).12.17	文化国際課長	2023(R5).2.6~2.10
第9回	2023(R5).7.15	文化国際課長	2024(R6).1.24~1.28

(2) 中国・寧夏回族自治区



① 寧夏回族自治区の概要

1. 面積：66,400 km²（島根県の約10倍）
2. 人口：約728.0万人（2023年10月現在）
漢族が最も多いが、少数民族も総人口の約35.95%を占め、中国国内の回族人口としては最も多い。回族とは、イスラム教を信仰する中国少数民族の一つである。
3. 区都：銀川市 常住人口 289.68万人（2022年末現在）
4. 主席：張雨浦 2022年5月～
5. 地勢：寧夏回族自治区は中国北西部に位置し、東は陝西省、北は内モンゴル自治区、西と南は甘粛省に隣接している。黄河が北部を西から北東にかけて約400km縦断し、内モンゴル自治区との境界となる賀蘭山系（最大標高3,556m）との間に肥沃な寧夏平原を形成している。南部は南に行くに従って標高が高くなり、山岳・高原地帯となっている。また、寧夏は三大砂漠（西にトングリ砂漠、東にモウス砂漠の一部、北にウランブハ砂漠）に囲まれており、砂漠化面積は総面積の24%を占めている。このため寧夏では大規模な植樹・造林や灌漑等による土地整備に力を入れている。
6. 気候：典型的な温帯大陸性気候に属し、南北の気候の違いは大きい。北部は雨が少なく乾燥しており、気温の変化も大きい。南部の六盤山地帯は湿潤で気温も低い。年間平均気温は5℃～10℃。年間降水量は約300mmである。
7. 名所：沙湖、沙坡頭、鎮北堡映画村、水洞溝遺跡、西夏陵、賀蘭山岩画、固原博物館、六盤山国家森林公园、須弥山石窟、塩池長城博物館、中衛高廟など。
8. 産業：◆農業
寧夏平原には1,292,000ha余りの灌漑農地が広がり、米、小麦、トウモロコシなどの穀物やスイカ、リンゴ、ブドウなどの果物の栽培が盛んである。また寧夏には3,124,000ha余りの広大な牧草地があり、牛、羊、ヤギなどの飼育も盛んである。また寧夏の独特な気候と土壌条件の上に、全国的シェアを持つ植物も栽培されている。それは、高品質のクコ・甘草などの薬用植物、賀蘭山東麓のブドウ酒醸造用のブドウ、南部山間地帯のでんぷん精製用のジャガイモなどである。
◆エネルギー産業
寧夏は、エネルギー資源が豊富で品質も優れている。特に、石炭の埋蔵量は315億tで国内6位、石膏の埋蔵量は45億tと国内トップである。また豊富な石炭、水力、石油・天然ガス、風力、太陽光エネルギーを背景に発電産業が発展しており、電力は自給して年間10数億kwの余剰分を自治区外に送電している。
◆工業
寧夏は、農業、エネルギー産業の優位を背景に石炭、電力、冶金、化学工業、製紙、医薬、食品、建材など、幅広い業種が形成されている。特に鉄合金、炭素製品、電解アルミニウム、タイヤ、工作機械、ベアリングなどは、国内でかなりの市場シェアを占めている。

② 「友好協定」調印までの経緯 【調印日：1993(H5)年10月6日】

年度	時期	内容
1990(H2)	11月	環日本海松江国際交流会議が主催するシンポジウム「日中国際交流会議～シルクロードと山陰～」(松江市)に寧夏社会科学院などの研究者6名が参加
1991(H3)	10月	浜田市友好親善訪問団など45名が「寧夏国際黄河文化節」(銀川市)に参加 丁成寧夏回族自治区外事弁公室主任を団長とする友好訪問団7名が「全国育樹祭」(大田市)に出席
1992(H4)	10月	澄田知事及び宇津県議会議長をはじめとする友好親善訪中団15名が寧夏回族自治区を訪問

年 度	時 期	内 容
1993 (H5)	6 月	程法光 寧夏回族自治区副主席を団長とする友好訪問団 6 名が島根県を訪問
	10 月	師夢雄 寧夏回族自治区秘書長を団長とする友好訪問団 13 名が島根県を訪問し 友好県区協定を調印(白立忱 寧夏回族自治区主席は急病のため欠席) 寧夏回族自治区が「しまねエキスポ'93」(松江市)に参加

③ 主な交流事業（友好県区協定調印後）

ア. 訪問団等の派遣・受入（過去 10 年）

(ア) 派 遣

年 度	時 期	人 数	概 要
2014 (H26)	7 月	3	草の根技術協力事業専門家派遣
	8 月	4	交流の翼・中国プログラム
	2 月	6	草の根技術協力事業専門家派遣
	2 月	5	出雲古代歴史博物館・寧夏博物館研究等学術活動協定書締結式典
2015 (H27)	7 月	4	草の根技術協力事業専門家派遣
	8 月	7	交流の翼・中国プログラム
	2 月	6	草の根技術協力事業専門家派遣
2016 (H28)	8 月	6	交流の翼・中国プログラム
	9 月	4	寧夏国際友好都市フォーラム出席
2017 (H29)	8 月	6	交流の翼・中国プログラム
	1 月	3	次年度交流事業協議
2018 (H30)	8 月	7	交流の翼・中国プログラム
	10 月	9	友好提携 25 周年記念式典（団長：藤原副知事）
2019 (R 元)	7～8 月	4	交流の翼・中国プログラム
2020 (R2)	※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止		
2021 (R3)	7 月	3	交流の翼・中国プログラム（オンライン交流）
2022 (R4)	※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止		
2023 (R5)	10 月	8	友好提携 30 周年記念式典（団長：松尾副知事）

(イ) 受 入

年 度	時 期	人 数	概 要
2014 (H26)	8 月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	17	寧夏大学日本語学科訪問団
	9 月	4	草の根技術協力事業研修員受入
	10 月	4	寧夏回族自治区外事弁公室訪問団
2015 (H27)	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	9	寧夏大学日本語学科訪問団
	10 月	5	草の根技術協力事業研修員受入
	10 月	7	寧夏回族自治区政治協商会議訪問団（団長：齊同生主席）
2016 (H28)	4 月	6	寧夏回族自治区政治協商会議訪問団（団長：李淑芬副主席）
	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
2017 (H29)	8 月	3	寧夏回族自治区外事弁公室訪問団
	8 月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	8 月	7	寧夏大学日本語学科訪問団
2018 (H30)	8 月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	9 月	10	友好提携 25 周年記念式典（団長：王紫雲副主席）
	11 月	49	「日中植林・植樹国際連帯事業」日中大学生五百人交流団（寧夏回族自治区分団）

年 度	時 期	人 数	概 要
2019(R元)	4月	6	寧夏回族自治区衛生健康委員会代表団
	8月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	8月～9月	10	寧夏大学日本語学科訪問団、北方民族大学芸能団
2020(R2)			※新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止
2021(R3)	8月～11月	3	北東アジア交流の翼 in しまね (オンライン交流)
2022(R4)	10月		※北東アジア交流の翼 in しまね：新型コロナウイルス感染症の影響により県内在住者のみで実施
2023(R5)	9月～10月		北東アジア交流の翼inしまね (前年同様に県内在住者のみで実施)
	10月	7	寧夏回族自治区民政庁訪問団
	11月	7	友好提携 30 周年記念式典 (団長：白尚成 ^{はくしょうせい} 副主任)

イ. 文化交流

- ・1994(H6)年10月、国際家族年記念事業「ふれあいファミリーフェスティバル」に寧夏から幼稚園児、小学生児童の絵画が出品される
- ・1996(H8)年5月、県民会館において「寧夏友好写真展」を開催
- ・1997(H9)年8月、寧夏で写真家同士の交流や撮影会を実施
- ・1998(H10)年5月、友好提携5周年記念事業として県内3会場(松江市、出雲市、浜田市)において「寧夏回族自治区写真展」を開催
- ・2001(H13)年11月、技能グランプリ参加に併せて松江市と安来市において写真展を開催
- ・2002(H14)年10月、「北東アジア地域子育て生活文化展」に寧夏から子育てに関する物品や情報が展示・紹介される
- ・2003(H15)年10月、友好提携10周年記念事業として県立美術館において「島根・寧夏交流写真展」を開催するとともに松江一中と県立大学において「寧夏芸術団公演」を開催
- ・2005(H17)年11月、「北東アジア国際文化パレットinしまね」事業として「寧夏歌舞団」を招致し松江市(鹿島文化ホール)、益田市(島根県芸術文化センター、ふれあいホールみと)の県内3会場で公演
- ・2008(H20)年11月「北東アジア国際文化パレットinしまね」事業として「寧夏歌舞団」を招致し松江市(島根県民会館)、浜田市(島根県立大学)の県内2会場で公演
- ・2008(H20)年11月、友好提携15周年記念事業として県民会館において「寧夏回族自治区写真展」を開催
- ・2013(H25)年9月、友好提携20周年記念事業として古代出雲歴史博物館において「寧夏岩画展」を開催(6日間の観覧者総数：4,712人)
- ・2013(H25)年11月、友好提携20周年記念事業として県民会館において銀川芸術劇院による回族劇「月上賀蘭」を開催(観客数：約1,100人)
- ・2018(H30)年4月、友好提携25周年記念事業として県立美術館において「島根・寧夏記念写真展」を開催
- ・2018(H30)年9月、友好提携25周年記念事業として島根大学総合博物館において「島根・寧夏記念写真展」を開催
- ・2018(H30)年12月、友好提携25周年記念事業として島根県立図書館において「島根・寧夏記念展示」を開催

ウ. 教育・学術交流

(ア) 島根大学の交流

- ・1997(H9)年8月、島根大学と寧夏大学が交流協定を締結し短期留学生の受入を開始
- ・2004(H16)年2月、寧夏医学院と交流協定を締結し研究者の受入を開始
- ・2004(H16)年3月「島根大学・寧夏大学国際共同研究所」を開所

- ・2005(H17)年9月、寧夏大学構内に「島根大学・寧夏大学国際共同研究所」研究棟が完成
- ・2013(H25)年10月、島根大学・寧夏大学国際共同研究所内に日本・島根県に関する資料を集めた「図書室」を開設
- ・2014(H26)年11月、島根大学・寧夏大学国際共同研究所設立10周年記念式典、2014(H26)年度日中国際学術セミナー(第12回)を島根大学で開催

(イ) 島根県立大学の交流

- ・2001(H13)年6月、島根県と寧夏回族自治区の間で留学生受入に関する協定を締結
- ・2002(H14)年4月、寧夏大学から留学生の受入を開始
- ・2004(H16)年10月、県立大学と寧夏大学が交流協定を締結

(ウ) 島根大学教育学部附属義務教育学校の交流

- ・2021(R3)年3月、島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程と寧夏回族自治区銀川第21小学校がオンライン交流を実施
- ・2022(R4)年3月、島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程と寧夏回族自治区銀川第21小学校の児童がビデオ交換による交流を実施

(エ) 疫学調査に関する共同研究〔1997(H9)～1999(H11)〕

衛生公害研究所(現保健環境科学研究所)と寧夏の研究機関が、寧夏回族自治区におけるペスト流行地及び病原性エルシニアの分布と生態について共同調査を実施。

(オ) 大気汚染及び黄砂に関する共同研究〔1997(H9)～2000(H12)〕

衛生公害研究所(現保健環境科学研究所)と寧夏環境保護局が、大気汚染及び黄砂現象の実態把握と構造解明に向けて共同研究を実施。

(カ) その他の学術交流

- ・1996(H8)年8月、寧夏大学教授による「西夏文字研究に関する講演会」を開催
- ・1997(H9)年6月、中国中央民族大学教授による「中国少数民族に関する講演会」を開催
- ・2000(H12)年8月、能海寛中国訪問100年を記念して寧夏において「能海寛研究会」を開催
- ・2001(H13)年1月、国内講師を招き文化講座「寧夏回族自治区の古代文化とシルクロード」を開催
- ・2003(H15)年10月、環日本海松江国際交流会議のシンポジウムを「寧夏の歴史と文化」をテーマに開催
- ・2015(H27)年2月、県立出雲古代歴史博物館と寧夏回族自治区博物館が研究等学術活動の協力に関する協定を締結

(キ) 教育・スポーツ交流

- ・1995(H7)年8月、島根県高校生登山調査隊が寧夏において登山やスポーツなどの交流活動を行う
- ・1995(H7)年8月「島根県青少年海外協力体験事業」((財)しまね国際センター主催)の一環として高校生が寧夏においてホームステイ交流等を行う(～1998(H10)年8月まで計4回実施)
- ・1997(H9)年8月、北京で開催された「日中国交25周年記念ジュニア卓球大会」に島根と寧夏の高校生による合同チームが出場
- ・2002(H14)年8月、北京で開催された「日中国交正常化30周年記念・日中友好都市中学校卓球大会」に島根と寧夏の中学生による合同チームが出場
- ・2007(H19)年8月、北京で開催された「日中国交正常化35周年記念・日中友好都市小学生卓球大会」に島根と寧夏、島根と吉林の小学生による各合同チームが出場
- ・2012(H24)年8月、北京で開催された「日中国交正常化40周年記念・日中友好都市小学生卓球大会」に松江市と銀川市、松江市と吉林の小学生による各合同チームが出場

エ. 経済交流

(ア) コンピュータソフト開発に係る技術提携

1994(H6)年9月、県内企業と寧夏康迪特電腦技術会社が技術提携し、コンピュータソフト開発につい

て合作事業を推進。

(イ) 放送局間の友好提携

1994(H6)年6月、県内民間放送と寧夏電視台が友好協定を締結し、番組交換や海外技術研修員受入を実施。

(ウ) 木質製品開発・販路開拓プロジェクト

- ・2004(H16)年6月、県西部の木材関連企業24社が寧夏への木質製品販売を目的に「木質製品開発・販路開拓プロジェクト」を立ち上げる
- ・2004(H16)年7月、寧夏において第1回市場調査(家具工場、マンション視察)を実施
- ・2005(H17)年2月、第2回市場調査(政府・企業関係者への日本家屋・内装、木製品のプレゼンテーション)を実施
- ・2005(H17)年6月、現地企業オフィス内において内装材施工テストを実施
- ・2006(H18)年3月、現地リゾート開発区内の日本庭園内に日本家屋を建築

(エ) 水環境ビジネス

- ・2011(H23)年3月、産業振興課地域産業創造グループによる現地視察
- ・2012(H24)年6月、JICA草の根技術協力事業専門家派遣に併せ水ビジネス研究会による現地市場調査を実施
- ・2013(H25)年6月、JICA草の根技術協力事業専門家派遣に併せ県内企業が現地市場調査を実施

オ. その他

(ア) 緑化協力事業

1997(H9)年7月に島根県と寧夏回族自治区が「島根・寧夏友好林」造成に関する協議書を締結した。

2001(H13)年11月に第二次の協議書を締結し、2009(H21)年度までに合計7.6ヘクタールの友好林造成を行った。

1998(H10)年5月からは、毎年、県民ボランティア(日中友好国際協力活動島根県民交流団)が寧夏を訪問し、友好植林活動や文化・スポーツ交流等が続けられていたが、2011(H23)年を区切りとして島根県民交流団の活動は中止された。

2013(H25)年からはNPO日本・寧夏友好交流協会が植林活動を開始し、2018(H30)年に終了。

日中友好国際協力活動島根県民交流団の寧夏派遣状況

NO.	年度	時期	参加者数	NO.	年度	時期	参加者数
1	1997(H9)	6月	120	11	2007(H19)	6月	20
2	1998(H10)	5月	74	12	2008(H20)	10月	30
3	1999(H11)	6月	124	13	2009(H21)	6月	13
4	2000(H12)	5月	107	14	2010(H22)	6月	16
5	2001(H13)	6月	136	15	2011(H23)	6月	23
6	2002(H14)	6月	91	16	2013(H25)	10月	30
7	2003(H15)	9月	42	17	2014(H26)	6月	4
8	2004(H16)	7月	61	18	2015(H27)	6月	39
9	2005(H17)	6月	64	19	2016(H28)	10月	4
10	2006(H18)	6月	93	20	2017(H29)	6月	13
				21	2018(H30)	10月	17

(イ) 草の根技術協力事業

「寧夏回族自治区における下水道汚泥総合利用技術の確立」を支援するため、JICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業を活用して2007(H19)年度から3か年の計画で、下水道汚泥の減容化・無害化・資源化のための技術協力(専門家派遣、研修員受入)を行った。

- ・2007(H19)年9月、専門家2名(下水道行政技術者)を寧夏に派遣
- ・2007(H19)年10月、技術者2名(污水处理有限公司職員)を受入
- ・2008(H20)年6月、専門家2名(下水道行政技術者)を寧夏に派遣

- ・2008(H20)年9月、専門家3名（下水道行政技術者・土壌環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2008(H20)年11月、技術者4名（汚水処理有限公司職員・土壌環境研究員）を受入
- ・2009(H21)年7月、専門家3名（下水道行政技術者・土壌環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2009(H21)年10月、技術者3名（政府職員・土壌環境研究員・汚水処理有限公司職員）を受入
- ・2010(H22)年1月、専門家2名（下水道行政技術者・土壌環境研究員）を寧夏に派遣

「寧夏回族自治区農村部等での汚水処理・汚泥・家畜糞尿有効活用」を支援するため、JICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業を活用して2010(H22)年度から3か年の計画で、小規模汚水処理の技術と汚水汚泥・家畜糞尿の減容化・無害化・資源化のための技術協力（専門家派遣、研修員受入）を行った。

- ・2010(H22)年8月、専門家2名（下水道行政技術者）を寧夏に派遣
- ・2010(H22)年10月、技術者4名（政府職員2名・畜産事業者・汚水処理有限公司職員）を受入
- ・2011(H23)年7月、専門家4名（下水道行政技術者2名、畜産酪農環境研究員、土壌環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2011(H23)年11月、技術者4名（政府職員・大学研究者・汚水処理有限公司職員・堆肥製造事業者）を受入
- ・2012(H24)年6月、専門家2名（プロジェクトリーダー、下水道行政技術者）を寧夏に派遣
- ・2012(H24)年11月、技術者5名（政府職員・大学研究者・汚水処理有限公司職員2名・堆肥製造事業者）を受入

寧夏回族自治区での都市部及び農村部を包括した循環型水環境の改善を進め、愛伊河流域全体の水環境の改善を図るため、JICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業を活用して2013(H25)年度から3か年の計画で『流域管理計画』の策定技術及び愛伊河の体系的な水環境改善技術習得のための技術協力（専門家派遣、研修員受入）を行っている。

- ・2013(H25)年1月、専門家3名（プロジェクトリーダー、畜産酪農環境研究員、土壌環境研究員）を寧夏に派遣
- ・2013(H25)年6月、専門家1名（プロジェクトリーダー）を寧夏に派遣（県内企業担当者が市場調査として同行）
- ・2014(H26)年1月、専門家4名（プロジェクトリーダー、河川管理技術者、汚水処理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2014(H26)年7月、専門家1名（プロジェクトリーダー）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2014(H26)年9月、技術者4名（政府職員4名）を島根で受入
- ・2015(H27)年2月、専門家5名（プロジェクトリーダー、河川管理技術者、道路管理技術者、畜産酪農環境研究員、土壌環境研究員）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2015(H27)年7月、専門家3名（プロジェクトリーダー、土木管理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣
- ・2015(H27)年10月、技術者5名（政府職員5名）を受入
- ・2016(H28)年2月、専門家5名（プロジェクトリーダー、畜産酪農環境研究員、土壌環境研究員、土木管理技術者2名）・業務調査員を寧夏に派遣

(ウ) その他

- ・1998(H10)年9月、民間団体が寧夏大学に書籍を寄贈
- ・1998(H10)年11月、松江市乃木公民館が寧夏に小学校を建設するため募金活動を行う
- ・1999(H11)年10月、松江市乃木公民館の募金活動により寧夏に小学校2校が竣工
- ・1999(H11)年10月、民間団体が寧夏大学に書籍を寄贈
- ・2006(H18)年6月、日中友好国際協力活動島根県民交流団が寧夏の小中学校に地球環境の尊さをつづった故坪田愛華作の絵本『地球の秘密』中国語版一万冊を寄贈

(3) 中国・吉林省



① 吉林省の概要

1. 面積：187,400 km²（島根県の約 28 倍）
2. 人口：約 2,407 万人（2020 年現在）
人口の約 8 割は漢族で、その他は朝鮮族、満州族、蒙古族、回族等
3. 省都：長春市 人口約 907 万人（2020 年現在）
4. 省長：胡^こ玉^{きよ}亭^{てい} 2023 年 5 月～
5. 地勢：吉林省は中国東北部に位置し、東部をロシア、南東を北朝鮮と国境を接し、南は遼寧省、北は黒龍江省、西は内モンゴル自治区と接する。
6. 気候：全体的に季節風の吹く温帯性気候に属するが冬期は寒さが厳しい。
年平均気温は 2～6℃。平均年間降水量は約 400 mm～600 mm。
7. 産業：農畜産業が盛んであり、主な農作物はトウモロコシ・大豆・甜菜・朝鮮人参などである。特に朝鮮人参の生産高は中国の 8 割、世界の 7 割以上を占めている。近年、農産物加工業が急成長し新たな主要産業となっている。また、工業では自動車・鉄道車両の製造と石油化学工業が盛んで、自動車の年間生産台数は 2019 年には 289 万台に達している。

② 「友好交流に関する覚書」（調印日：1994(H 6)年 6 月 13 日）および「友好県省提携に関する協定書」（調印日：2018(H 30)年 10 月 15 日）調印までの経緯

年 度	時 期	内 容
1992(H4)	11 月	「環日本海交流国際セミナー」（松江市）に吉林省調査研究室から研究者が参加
1993(H5)	7 月～8 月	小村商工労働部長以下島根県中国経済交流団 20 名を吉林省に派遣
	9 月	吉林省図們江開発交流団 74 名が境港から島根、鳥取両県を訪問
	11 月	椎川総務部長が吉林省を訪問
	3 月	梁 ^{りょう} 吉 ^{きち} 昌 ^{しょう} 吉林省外事弁公室主任が島根県を訪問
1994(H6)	6 月	澄田信義知事以下 15 名が吉林省を訪問し友好交流に関する覚書に調印
2017(H29)	8 月	「第 11 回中国・北東アジア博覧会」（吉林省）に島根県から訪問団を派遣した際、今後の更なる友好関係の発展のため日中平和友好条約締結 40 周年となる 2018(H30)年に友好県省提携を締結したい旨、吉林省から打診を受ける
2018(H30)	10 月	藤原孝行副知事以下 8 名が吉林省を訪問し友好県省提携に関する協定書に調印

③ 主な交流事業（友好交流に関する覚書調印後）

ア. 訪問団等の派遣・受入（過去 10 年）

（ア）派遣

年 度	時 期	人 数	概 要
2014(H26)	5 月	3	20 周年記念事業に係る事務協議
	8 月	7	「日中韓青少年交流in吉林」
	10 月	4	20 周年記念友好訪問団（団長：神在英寛環境生活部次長）
	12 月	7	和太鼓「今福座」派遣公演（北東アジア国際文化パレット）
2015(H27)	8 月～9 月	4	第 10 回中国・北東アジア博覧会 第 1 回中日韓地方政府協力会議及びビジネスマッチング
2016(H28)	3 月	4	事務協議団
2017(H29)	8 月～9 月	3	第 11 回中国・北東アジア博覧会、第 2 回中日韓地方政府協力会議
	10 月～11 月	3	事務協議団
	3 月	14	2018 しまね青年交流の翼・中国吉林プログラム

年 度	時 期	人 数	概 要
2018(H30)	10月	8	友好県省提携調印式（団長：藤原副知事）
	1月	4	事務協議団
2019(R元)	8月	5	第12回中国・北東アジア博覧会、北東アジア地域協力地方政府首脳円卓会議（団長：藤原副知事）
2020(R2)	※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止		
2021(R3)			
2022(R4)			
2023(R5)	8月	3	第14回中国・北東アジア博覧会、第3回北東アジア地域協力地方政府首脳円卓会議（団長：西村環境生活部長）

(イ) 受入

年 度	時 期	人 数	概 要
2014(H26)	8月	1	薛雲アジア処長来県（20周年記念事業）
	8月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	3月	3	事務協議団受入（団長：団穎棟 副巡視員）
2015(H27)	8月	4	北東アジア交流の翼inしまね
2016(H28)	4月	6	人民代表大会代表団（団長：李龍熙 副主任）
	8月	4	北東アジア交流の翼inしまね
2017(H29)	8月	4	北東アジア交流の翼inしまね
	1月	6	事務協議団受入（団長：鄭剛 副主任）
2018(H30)	4月	94	吉林省民族楽団（日中平和友好条約締結40周年記念事業）
	8月	5	人民代表大会代表団（団長：邱志方 副主任）
	8月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	1月	3	代表団受入（団長：蔣延輝 主任）
2019(R元)	8月	5	北東アジア交流の翼inしまね
	10月	6	島根県・吉林省友好交流25周年記念イベント（北東アジア国際文化パレット）
2020(R2)	※新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止		
2021(R3)	8月～11月	3	北東アジア交流の翼inしまね（オンライン交流）
2022(R4)	10月	※北東アジア交流の翼 in しまね：新型コロナウイルス感染症の影響により県内在住者のみで実施	
2023(R5)	6月	5	代表団受入（団長：許才山秘書長）
	9、10月	※北東アジア交流の翼 in しまね（新型コロナウイルス感染症の影響により県内在住者のみで実施）	

イ. 学術・大学間交流

(ア) 島根県立国際短期大学と吉林大学東北亜研究院との交流

- ・1996(H8)年から1999(H11)年まで吉林大学東北亜研究院から客員研究員を招聘
- ・1997(H9)年、国際短期大学と吉林大学東北亜研究院が交流協定を締結

(イ) 職員派遣

国際課（県立大学整備室兼務）別枝主査を吉林大学東北亜研究院に派遣

〔派遣期間：1997(H9)年10月～1999(H11)年9月〕

1998(H10)年4月同研究院客員教授就任

日中関係等に関する研究活動の他、吉林大学と島根県立大学の交流協定準備等に携わる

(ウ) 島根県立大学の国際交流

2000(H12)年4月、島根県と吉林省との留学生受入派遣に関する協定に基づき吉林省から2名の留

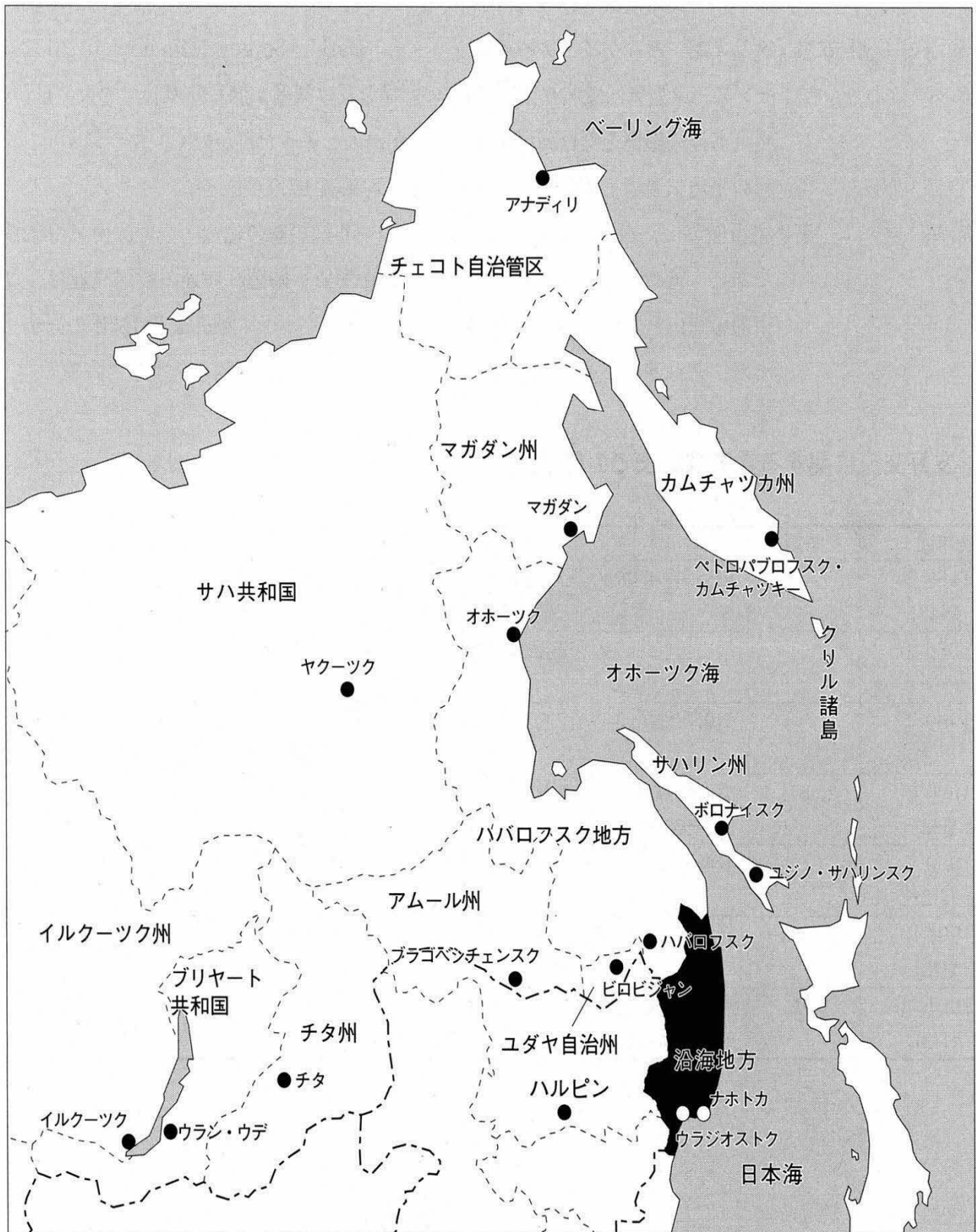
学生を受入れる

- ・ 2000(H12)年 10 月、県立大学と吉林大学が交流協定を締結
- ・ 2001(H13)年 4 月、留学生 2 名受入
- ・ 2002(H14)年 4 月、留学生 1 名受入
- ・ 2003(H15)年 4 月～2013(H25)年 4 月、各年度それぞれ留学生 2 名を受入
- ・ 2013(H25)年 9 月、県立大学北東アジア地域研究センター（NEARセンター）と東北師範大学・東亜文明研究中心が学術交流協定を締結
- ・ 2015(H27)年 3 月～2016(H28)年 2 月、語学留学生として県立大学生を吉林大学に 1 名派遣
- ・ 2016(H28)年 3 月～2017(H29)年 2 月、語学留学生として県立大学生を吉林大学に 1 名派遣
- ・ 2018(H30)年 3 月～2019(H31)年 2 月、語学留学生として県立大学生を吉林大学に 1 名派遣
- ・ 2018(H30)年 9 月～2019(R 元)年 8 月、語学留学生として県立大学生を吉林大学に 1 名派遣
- ・ 2019(R 元)年 9 月～2020(R2)年 6 月、語学留学生として県立大学生を吉林大学に 1 名派遣
- ・ 2020(R2)年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・ 2022(R4)年 8 月「2022 年度 友好都市、共に未来へ」中国吉林省と島根県青少年オンライン交流事業として吉林大学とオンラインで交流

(エ) 島根大学の国際交流

- ・ 1999(H11)年 2 月に島根大学と吉林大学とが交流協定に調印

(4) ロシア連邦・沿海地方



① 沿海地方の概要

1. 面積：165,900 km²（島根県の約25倍）
2. 人口：約191.3万人（2022年現在）
ヨーロッパ系民族が人口の大多数を占めており、ロシア民族85.66%とウクライナ民族2.55%の2民族で88.21%となっている。
3. 地方政府所在地：ウラジオストク（人口約59.72万人、2023年現在）
4. 地方政府知事：コジェミャコ・オレグ・ニコラエヴィッチ（2018年12月就任）
Kozhemyako Oleg Nikolayevich
5. 地勢：沿海地方は極東ロシアの東南端に位置し、北部をロシア・ハバロフスク地方、西部を中国・黒龍江省及び吉林省、南西を北朝鮮と国境を接する。
6. 気候：モンスーン型気候であり、冬は内陸の影響を受け気温が低く乾燥して晴天の日が続く、夏は海洋の影響を受け高温多湿な空気が侵入し曇った日が続く。札幌市とほぼ同緯度のウラジオストク市の1月の平均気温は-10℃前後、7月の平均気温は20℃前後。
7. 産業：主力産業は水産業であり、機械工業の中心は船舶の建造・修理や漁業用機械などである。他に食品工業、木材工業、鉱業がある。陸運・海運の輸送交通はロシア東部の窓口として重要な役割を担っている。農業はハンカ湖周辺の米作の他、大麦、小麦、えん麦、大豆、野菜などが生産されている。畜産業も発達している。

② 「友好交流に関する覚書」調印までの経緯 【調印日：1991(H3)年10月24日】

年 度	時 期	内 容
1968(S43)		田部知事が訪ソ、「島根県日ソ貿易協同組合」が設立され貿易の進展が図られた
1986(S61)		恒松知事が訪ソ、「島根県日ソ親善協会」が設立された
1990(H2)	8月	親善友好訪問団の派遣、カザフ共和国の劇団の招請などの交流を行った
	12月	沿海地方ウラジオストク市の「ゴリキードラマ劇場」が山陰各地で公演し安来市民が交流を深めた
1991(H3)	3月	経済・文化交流訪ソ団の一員として両県事務担当者がウラジオストク等を訪問した
	10月	島根・鳥取両県知事を団長とする代表団がウラジオストク、ナホトカを訪問し沿海地方主席との3者間で「友好交流に関する覚書」に署名し今後の交流を約束した

③ 主な交流内容（友好交流に関する覚書調印後）

ア. 訪問団等の派遣・受入（2010(H22)年度以降）

（ア）派遣

年 度	時 期	人 数	概 要
2010(H22)	7月	2	事務協議
	9月	2	事務協議（伝統芸能(安来節)公演等)
	12月	3	実務協議
2011(H23)	7月	2	実務協議
	9月	1	実務協議（島根文化月間等）
	10月	5	友好交流20周年記念事業（団長：松尾副知事）
2012(H24)	11月	3	実務協議
2013(H25)	9月	23	2013しまねウィークinウラジオストク
2014(H26)	10月	2	実務協議
2015(H27)	9月	16	2015しまねウィークinウラジオストク
2016(H28)	6月	4	実務協議

年 度	時 期	人 数	概 要
2016(H28)	10月	24	友好交流 25 周年記念事業 (団長：藤原副知事)
2017(H29)	7月	3	島根文化講座
2018(H30)	7月	3	島根文化講座

(イ) 受入

年 度	時 期	人 数	概 要
2013(H25)	2月	9	日露青年交流センターの短期招聘プログラムによりロシア沿海地方議会の議員訪問団が山陰地方を訪問し島根県議会との意見交換をはじめとする議員交流日本文化の体験や地域住民との交流を行った

イ. 文化交流

(ア) 友好交流 10 周年記念事業開催

【島根県内での記念事業】

時 期	受入先・内容	受入訪問団
2001(H13)年 4月	歓迎(入港)セレモニー、二川小学校訪問(絵の交流)、水産加工企業等訪問、ロシア民族アンサンブル上演、県立大学、県立美術館、県立中央病院訪問	沿海地方政府代表団 (5名) TINRO 技術者交流 (2名) 沿海地方政府職員 (1名) ※ ロシア民族アンサンブル (11名) ※ ウラジオストク市民間人 (81名) ※ (※船「アントニーナ・ネジダノワ号」で来県)
	「ピアノトリオの夕べ」	ロシア人チェリスト・ヴァイオリニストと日本人ピアニストによる競演

【沿海地方での記念事業】

時 期	訪問先・内容	訪 問 団
2001(H13)年 8月	沿海地方政府表敬、中古製材機覚書調印式、極東国立工科大学付属木材加工露日センター訪問	江口副知事外 8 名
	子供センター (オケアン) での文化交流、日露子供劇場での文化交流	浜田市上府子供神楽団 (子供 8 名外 1 名)
	「歴史講演会」	島根県立大学北東アジア地域研究センター客員研究員
	沿海地方政府表敬、中古製材機覚書調印式、ウラジオストク市内企業訪問	民間企業 17 社(水産、木材、砂等)と商工企画課及び(財)しまね国際センターの担当者 3 名

(イ) 「古い友人、新しいパートナー、日本の島根県」 ネットワーク拡充事業

【しまね日本語エッセイコンテスト】

年 度	部 門	応 募 者	表 彰 式	受賞者招待
2003(H15)	学生社会人/児童生徒	25/16 人	10月26日	2004(H16)年3月4日～3月11日(1名)
2004(H16)	学生社会人/児童生徒	15/11 人	10月31日	2005(H17)年3月8日～3月15日(1名)
2005(H17)	学生社会人/児童生徒	18/5 人	1月28日	2006(H18)年1月15日～1月22日(1名)

(ウ) ロシア連邦沿海地方人づくり事業

【しまね・にほんごカルタメッセージコンテスト】

年 度	作 品 数	応 募 者	表 彰 式	受賞者招待
2003(H15)	130	26	10月26日	—
2004(H16)	95	19	10月31日	—
2005(H17)	215	43	1月28日	2006(H18)年1月15日～1月22日(1名)

(エ) 島根県人づくり事業

時 期	内 容	参 加 者
2003(H15)年 7月	第3回ウラジオストクビエンナーレ(※)参加者へ助成 ①日本文化書道展、実技指導、一字大書識の実演 ②島根の子どもたちの絵画展、島根の写真展	斐川町国際交流協会 ヒューマンアンドジオサイエンス
2004(H16)年 10～11月	しまね・にほんごカルタ大会参加者へ助成 ①小倉百人一首実演、審判、講師 ②カルタ交流(51番学校) ③カルタ講義開催(極東総合大学東洋学大学)	島根県かるた協会
2005(H17)年 6～7月	第4回ウラジオストクビエンナーレ参加者へ助成 ①日本文化書道展、実技指導、一字大書識の実演 ②島根の子どもたちの絵画展、島根の写真展	斐川町国際交流協会 ヒューマンアンドジオサイエンス

(※ウラジオストクビエンナーレ：ウラジオストク市等主催で2年に1度開催される国際的な芸術の祭典)

(オ) 友好交流15周年記念事業開催

【島根県内での記念事業】

時 期	内 容	概 要
2006(H18)年 6月	講演会「ウラジオストクと日本～かつて日本海を越えた民衆達～」の開催 沿海地方を紹介する写真展の開催	明治・大正時代のウラジオストク日本人居留民研究者 堀江満智氏講演会 松江、江津、益田、西ノ島、出雲で開催

【沿海地方での記念事業】

時 期	訪 問 先 ・ 内 容	訪 問 団
2006(H18)年 8月	沿海地方政府等表敬 ウラジオストク国際映画祭参加 島根県・ロシア沿海地方友好交流15周年記念 オープニングセレモニー開催	松尾副知事外4名
	51番学校と交流 島根県・ロシア沿海地方友好交流15周年記念事業 オープニングで神楽公演 ウラジオストク国際映画祭オープニングで神楽公演	益田市石見神楽神和会 (子供15名外5名)
2006(H18)年8月 ～ 2007(H19)年3月	島根県を紹介する写真展の開催 映画「白い船」上映	海洋国立総合大学、極東国立総合大学、極東国立工科大学、経済サービス大学、アルセーニエフ博物館

(カ) 第5回ウラジオストクビエンナーレ参加

ロシアを理解する市民講座実行委員会、ヒューマンアンドジオサイエンスの12名とともに島根県を紹介する展示、隠岐民謡コンサート等を実施

時 期	内 容
2007(H19)年 7月	第5回ウラジオストクビエンナーレに参加(しまね国際センター助成) ①沿海地方博物館で島根紹介展(茶道・玩具体験、神楽、子どもたちの習字、絵画展) ②ビエンナーレ開会式、ルースキー島、中央広場等で隠岐民謡コンサート ③日本センターで隠岐民謡・神楽に関する講演

(キ) ウラジオストク島根 DAYS 実施

安来節保存会、ロシアを理解する市民講座実行委員会、ヒューマンアンドジオサイエンスなどの13名とともに安来節コンサート、島根県を紹介する展示等を実施

時 期	内 容
2009(H21)年 7月	ウラジオストク島根 DAYS を実施(しまね国際センター助成) ①沿海地方博物館で島根紹介展(写真・パッチワーク、習字、子どもたちの絵画展) ②青年劇場、中央広場等で安来節コンサート ③日本センターで隠岐の漂着ロシア水兵の墓を通じた交流に関する講演

(ク) 北東アジア国際文化パレット事業

沿海地方をはじめとする北東アジア地域の伝統文化、芸能団体を島根県に招致し県内での公演、県民との交流活動を実施

時 期	団 体	内 容
2005(H17)年	ウラジオストク日本文化同好会	江津市総合市民センターでコンサートを行うとともに松江市、津和野町等で交流を実施
2007(H19)年	ロシア少女民謡コーラスグループ「ヤルマルカ」	松江イングリッシュガーデン他でコンサートを行うとともに江津市、西ノ島町等で交流を実施
2011(H23)年	ロシア少女民謡コーラスグループ「ヤルマルカ」	島根県民会館、江津市民センターでコンサートを行うとともに江津市、奥出雲町で交流を実施
2016(H28)年	ロシア連邦極東芸術大学	音楽学部の教授等が友好交流 25 周年を記念し松江テルサでロシア民族音楽のコンサートを行うとともに松江市で交流を実施
2017(H29)年	ロシア連邦極東芸術大学演劇学部	石見文化ホールで開催された石見演劇フェスティバルに友好交流 25 周年を記念しゲスト出演するとともに浜田市で交流を実施

(ケ) 日本文化体験研修開催

ウラジオストク日本センターを通じロシア沿海地方から参加者を募集し島根県内で日本文化をテーマにした研修を実施

時 期	内 容
2010(H22)年 7月	茶道に関する講義・体験、茶室訪問、茶葉生産工場の見学、茶菓子製作体験、着付け体験等 (参加者 9 名)
2012(H24)年 4月	茶道に関する講義・体験、茶室訪問、茶葉生産工場の見学、茶菓子製作体験、着付け体験等 (参加者 11 名)

(コ) 伝統芸能等を通じた交流事業

県内の伝統芸能グループとともにロシア沿海地方を訪問し交流事業を実施

時 期	内 容
2010(H22)年 9月	安来節ウラジオストク公演等の開催 安来節保存会とともにウラジオストクを訪問し、鉄道文化会館でのコンサートや 51 番学校との交流を実施

(サ) 友好交流 20 周年記念事業開催

【島根県内での記念事業】

時 期	内 容
2011(H23)年 5～6月	ロシア少女民謡コーラスグループ「ヤルマルカ」公演、学校交流(北東アジア国際文化パレット事業) 島根県・ロシア沿海地方の友好交流に関する写真・パネル展の開催

【沿海地方での記念事業】

時 期	訪問先・内容	訪 問 団
2011(H23)年 10月	沿海地方行政等表敬訪問 島根県観光情報説明会 友好交流 20 周年記念式典(アルセーニエフ博物館)	松尾副知事外 5 名
	ウラジオストク 51 番学校と交流 友好交流 20 周年記念公演(プーシキン劇場、記念式典会場)	江川太鼓(8名)

(シ) 島根文化月間の開催(沿海地方ウラジオストク)

日本・ウラジオストク協会山陰支部、ロシアを理解する市民講座実行委員会、隠岐島前高校魅力化の会、石見銀山資料館などの 13 名とともに世界遺産石見銀山等、島根県を紹介する展示や学校交流を実施

時 期	内 容
2011(H23)年 9月	①アルセーニエフ博物館で世界遺産石見銀山の写真等の展示 ②世界遺産石見银山に関する講座と意見交換会 ③ウラジオストク 51 番学校との交流 世界遺産石見銀山の紹介、隠岐伝統芸能、音楽等による交流

(ス) 2013 しまねウィークinウラジオストクの開催

ウラジオストク市内において島根県の歴史や文化等を紹介するイベントを開催
文化展示に併せて日露青年交流センターの派遣プログラム等を活用した山陰両県の若いジャズ演奏家
や神楽の舞手によるコンサートを実施

時 期	内 容
2013(H25)年 9月	①学術的交流 沿海地方国立美術館で神話のパネル展示、現地研究者と神話に関する円卓会議 ロシア科学アカデミー極東支部植物園訪問 ②音楽交流 音楽大学等でのコンサート、石見神楽上演、学生とのジャズセッション ③市民交流 神楽ワークショップ、子どもの絵の展示

(セ) ウラジオストク市の写真家グループの受入

由志園および県立美術館において沿海地方の花である蓮をテーマとした移動写真展「沿海地方の蓮の
美」を開催するとともに様々な市民交流を実施

時 期	内 容
2014(H26)年 4月	①移動写真展「沿海地方の蓮の美」の開催 ②県内の写真家グループとの撮影会、そば打ち体験などの市民交流 ③石見銀山の視察や神楽の鑑賞、大学訪問やリサイクル工場での意見交換など、多岐にわたる交流

(ソ) ロシア国立極東芸術大学の音楽家グループの受入

日露青年交流センターが主催する短期招聘プログラムを活用しウラジオストク市のロシア国立極東芸術大学の教授ほか音楽家のグループが初めて日本を訪れ県内各地で音楽交流を実施

時 期	内 容
2015(H27)年 2月	①県立美術館での友好コンサート「ロシア悠久の調べ～ウラジオストクより～」の実施 ②島根大学附属中学校、出雲北陵高校および山陰フィルハーモニーオーケストラとの音楽交流 ③日本文化体験

(タ) ウラジオストク日本センターほか貿易調査受入

新しい貿易商材の調査のためウラジオストク日本センター担当者や古美術等の研究者が島根県を訪問
し県内の窯元や伝統工芸品の工房を視察

時 期	内 容
2015(H27)年 5～6月	①芸術文化センターグラントワ視察 ②イルティッシュ号乗組員救援 110 周年記念式典出席、市民交流会出席 ③県内外の窯元、伝統工芸の工房視察

(チ) 2015 しまねウィークinウラジオストクの開催

ウラジオストク市内において島村抱月ロシア公演 100 周年記念演劇祭と日本文化のマスタークラス、
現地総領事館等と連携した児童画展等を開催

時 期	内 容
2015(H27)年 9～10月	①演劇公演 100 年前に島村抱月が日露共同公演を行った「プーシキン劇場」での演劇公演 日露の演劇交流に関する円卓会議「藝術座百年」写真展

時 期	内 容
2015(H27)年 9～10月	②日本文化マスタークラス ロシアの子ども向けに生け花や浴衣の着付け体験等を実施 ③児童画展 浜田市世界こども美術館の収蔵作品の巡回展開催

(ツ) 友好交流 25 周年記念事業開催

【島根県内での記念事業】

時 期	内 容
2016(H28)年 5月	島根県・ロシア沿海地方友好交流 25 周年記念展@県立図書館 両地域の交流の歴史や文化、現地の様子を紹介する展示、講演会
2016(H28)年 11月	島根県・ロシア沿海地方友好交流 25 周年記念コンサート@松江テルサ（北東アジア国際文化パレット事業） ロシア連邦極東芸術大学教授等によるロシア民族音楽公演、学校交流
2017(H29)年 2月	石見演劇フェスティバル@石見文化ホール（北東アジア国際文化パレット事業） ロシア連邦極東芸術大学演劇学部がゲスト出演 島根県・ロシア沿海地方友好交流 25 周年記念展示@県立美術館 両地域の交流の歴史や文化、ロシアの子ども達が作成した絵画、現地の様子を紹介する展示

【沿海地方での記念事業】

時 期	内 容	訪問団
2016(H28)年 10月	沿海地方行政等表敬訪問 友好交流 25 周年記念式典（アルセーニエフ博物館別館） 連邦国立子供教育センター「オケアン」表敬訪問・牡丹記念植樹	藤原副知事外 8 名
	しまね EXPO ・しまねの工芸品展（アルセーニエフ博物館別館） ・しまねの食と酒と器を楽しむイベント （レストラン、バーMoon Shine）	職人、料理人他

(テ) 「ロシアにおける日本年」 事業

時 期	内 容	訪問団
2019(R 元)年 5月	「ロシアにおける日本年」を記念して在ウラジオストク日本国総領事館が石見神楽公演を企画 江津市石見神楽連絡協議会を沿海地方に派遣しウラジオストク市及びナホトカ市において神楽公演を実施	江津市石見神楽連絡協議会 19 名

(ト) 友好交流 30 周年記念事業開催

【島根県内での記念事業】

※新型コロナウイルス感染症の影響により沿海地方からの訪問団の受入なし

時 期	内 容
2021(R3)年 10月10日 ～10月15日	島根県・ロシア沿海地方友好交流 30 周年記念展示@島根県民会館展示ホール （北東アジア国際文化パレット事業） 両地域の交流の歴史や文化、ロシアの子ども達が作成した絵画、現地の様子を紹介する展示
10月16日	島根県・ロシア沿海地方友好交流 30 周年記念展示@島根県民会館大ホール付近 （北東アジア国際文化パレット事業） 両地域の交流の歴史や文化、現地の様子を紹介する展示
10月20日 ～11月15日	島根県・ロシア沿海地方友好交流 30 周年記念展示@しまね海洋館（アクアス）展望デッキ （北東アジア国際文化パレット事業） 両地域の交流の歴史や文化、現地の様子を紹介する展示

時 期	内 容
2021(R3)年 11月5日 ～12月3日	島根県・ロシア沿海地方友好交流 30 周年記念展示@西ノ島小学校 (北東アジア国際文化パレット事業) ロシアの子ども達が作成した絵画を展示
10月15日	日露交歓コンサート 2021 島根公演来日アーティストによるレッスン@島根県民会館大ホール／中ホール 音楽家を志す小学生から大学院生を対象に公募し一流の演奏家によるピアノとヴァイオリンのレッスンを実施
10月16日	日露交歓コンサート 2021 島根公演@島根県民会館大ホール ロシア国内外で活躍する音楽家によるクラシックコンサートを実施、島根県立松江北高等学校合唱部と共演
2022年(R4)年 1月15日	ロシアドキュメンタリー映画上映会@島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)小ホール (北東アジア国際文化パレット事業) 島根県とロシアの交流の絆を題材にした映画上映会及び映画関係者との意見交換会を実施 【映画】①「海を越える愛」②記録映画「イルティッシュ号の来た日」

【沿海地方での記念事業】

※新型コロナウイルス感染症の影響により島根県から訪問団の派遣なし

時 期	内 容
新型コロナウイルス感染症の影響により沿海地方での記念事業中止	

ウ. 教育・学術交流

時 期	項 目	内 容
2003(H15)年	ロシア沿海地方植物園との交流	8月、ロシア沿海地方植物園に牡丹 10 本を寄贈し試植を依頼
		10月、ロシア沿海地方植物園で牡丹の看板贈呈式を開催
2005(H17)年	ロシア沿海地方植物園との交流	1月、ロシア沿海地方植物園と島根県で牡丹管理について協力契約を締結
		6月、ロシア沿海地方植物園に牡丹 10 本を寄贈し試植を依頼
2007(H19)年	ロシア沿海地方植物園との交流	7月、ロシア沿海地方植物園と島根県で牡丹管理に関する協力契約を延長
	西ノ島小・中学校と第51番学校の交流	7月、第5回ビエンナーレで展示した子どもたちの習字・絵画を寄贈
	極東国立工科大学調査船の訪問	10月、イルティッシュ号の調査のため極東国立工科大学職員 5 名が調査船で来訪し隠岐島前を訪問するとともに江津和木地区沖で潜水調査・撮影を実施
2008(H20)年	生け花・写真展の開催	5月、漂着ロシア水兵の墓を通じた交流の一環でウラジオストクの生け花愛好家および写真家を招待し西ノ島小・中学校および隠岐の島町民との間で交流を実施
	海洋国立大学帆船「NADEZHDA」号浜田港寄港歓迎事業	海洋国立大学の訓練航海の一環として 120 名の乗員・学生を乗せた帆船が浜田港に寄港 10月4日、帆船の一般公開に 2,400 人の市民が来場、5日には 300 人の生徒児童が見学 訪問中、県立大学生とバレーボール、綱引きなどのスポーツ交流を実施
	海洋国立大学帆船「NADEZHDA」号浜田港寄港歓迎事業	江津市和木地区(イルティッシュ号慰霊碑)、アクアス、出雲大社等を訪問
2009(H21)年	アルセーニエフ博物館との交流	ウラジオストクのアルセーニエフ博物館からロシア民謡音楽グループが来訪し島根県立美術館でコンサートやロシア民族衣装展示、刺繍教室を開催

時 期	項 目	内 容
2009(H21)年	海洋国立大学帆船「NADEZHDA」号浜田港寄港歓迎事業	海洋国立大学の訓練航海の一環として 100 名の乗員・学生を乗せた帆船が浜田港に寄港 帆船の一般公開に 2,200 人が来場、300 人の生徒児童が見学 訪問中県立大学生とバレーボール、綱引きなどのスポーツ交流を実施 江津市和木地区(イルティッシュ号慰霊碑)、アクアス等を訪問
2013(H25)年	ロシア科学アカデミー極東支部植物研究所との交流	左記研究所が実施する絵画コンクールに島根の子どもたちの絵(8点)を出展・寄贈
	ロシア島根県牡丹友好交流訪問団の受入	島根県産牡丹の輸入関係者とウラジオストク市内の小中学生がぼたん祭りに参加 西ノ島小学校および八束学園での交流を行うとともに西ノ島町および隠岐の島町に所在するロシア人墓地に献花し両国の交流の歴史を学ぶ
	ウラジオストク国立経済サービス大学附属ドゥビニン記念学校との交流	しまねウィークの実施に合わせて同校を訪問し神楽のワークショップを実施
	浜田市世界こども美術館との交流	古事記 1300 年記念事業の一環として同美術館に来館する子どもたちにロシア人形作りを紹介しロシアの子どもの絵画を寄贈
2014(H26)年	ウラジオストク国立経済サービス大学附属ドゥビニン記念学校との交流	5 月の江津市和木町のロシア祭りにあわせて島根県を訪問し八束学園や西ノ島小学校でのマスタークラスやロシア人墓地への献花、文化体験、浜田市世界こども美術館への絵画寄贈などを行った また島根大学附属中学校の生徒との絵はがき交換やインターネットを通じた交流を実施
2015(H27)年	ウラジオストク国立経済サービス大学附属ドゥビニン記念学校との交流	5月31日のイルティッシュ号乗組員救援 110 周年記念式典に出席し各地のロシア人墓地への献花、島根大学附属中学校をはじめ県内各地で学校訪問や日本文化体験などの交流事業を実施
2017(H29)年	連邦国立子供教育センター「オケアン」との交流	ロシアを理解する市民講座実行委員会、あしたばの会の 3 名とともに同校を訪問し島根文化講座を実施
2018(H30)年	海洋国立大学帆船「NADEZHDA」号浜田港寄港歓迎事業	6月25日「日本におけるロシア年」プロジェクトの一環として 120 名の乗員・学生を乗せた海洋国立大学の帆船が浜田港に親善寄港 6月28日に実施された帆船の一般公開に地元の園児・小学生を含む一般市民など約 850 人が来場
	海洋国立大学帆船「NADEZHDA」号浜田港寄港歓迎事業	浜田に滞在中海洋国立大学と協定を結んでいる県立大学を訪問し両大学の学生がバレーボールや大縄跳びなどによるスポーツ交流を実施したほか帆船内でも相互の交流を実施 またロシア留学を志していた平岡都さんを偲ぶ記念花壇「ガーデン・オブ・ホープ」にて海洋国立大学の学生等が献花 江津市和木地区(高角小学校、イルティッシュ号慰霊碑、和木公民館) アクアス等を訪問 高角小学校ではイルティッシュ号の乗組員救助に関する児童の発表を鑑賞
	連邦国立子供教育センター「オケアン」との交流	7月にロシアを理解する市民講座実行委員会、NPO 法人エスペランサの計 3 名が同校を訪問し島根文化講座を実施
2019(R 元)年	ウラジオストク国立経済サービス大学附属ドゥビニン記念学校との交流	10 月に島根大学附属中学校や島根県立大学を訪問し交流事業を実施したほか県内各地で日本文化体験などを実施
	連邦国立子供教育センター「オケアン」との交流	11 月にオケアンの教師、生徒等が協定関係にある隠岐島前高校を訪問し交流事業を実施

エ. 経済交流

本県は、日本海を挟みロシア沿海地方と隣接しており、ロシア沿海地方との経済交流が行われてきた。

【取組経緯】

時 期	概 要
2008(H20)年	ウラジオストクSHIMANEフェア 【石見神楽上演(浜田市職員同好会)】700人が来場 将校会館にて「大蛇」「恵比寿」を上演 ウラジオストク訪問中の溝口知事、宇津浜田市長あいさつ 【県産品の展示・試食フェア】1,500人が来場 石州瓦、加工食品などを紹介 観光ポスター、観光パンフレット配布(ロシア語)
2009(H21)年	島根ビジネスサポートセンターの設置 ロシアにおける企業の円滑なビジネス展開を支援するためウラジオストク市内に設置 松尾副知事が訪問し開所式を開催 ウラジオストク市内に食品トライアルショップを設置
2010(H22)年	シベリア鉄道を利用した欧州ロシア向け建材輸送試験を実施 本県の特産品である石州瓦などの建材を浜田港からウラジオストクを経由してサンクトペテルブルグまで輸送
2009(H21)～ 2011(H23)年	ウラジオストク市内に日本建材センターを開設 和室を設置し和の空間づくりを提案、石州瓦の展示・商談などを行う
2009(H21)～ 2011(H23)年	松江大根島牡丹の輸出 県花である松江大根島牡丹の輸出を本格化 ウラジオストクおよびハバロフスクで展示販売会を開催、高い評価を受けている ウラジオストクを拠点としたロシア全土への販路拡大に着手
2012(H24)年	浜田港ロシア貿易サポートデスクを開設
2013(H25)年	経済ミッションの派遣 浜田港ロシア貿易拡大プロジェクトの一環としてロシア貿易に関心のある食品メーカー、日用品メーカーなどがウラジオストク市ほかを訪問 市場調査と商談を実施 松江大根島牡丹の植樹活動 牡丹の輸出はウラジオストクを拠点としてモスクワやサンクトペテルブルグまで販路が広がり 輸出量は年々順調に増加 現地の要望に応じて日本人墓地(アルチュム市)や小・中学校、極東大学(ウラジオストク市)への植樹を積極的に行い両地域の友好関係の促進に寄与
2014(H26)年	水産業経済ミッション 浜田港ロシア貿易拡大プロジェクトの一環として水産事業者が海産物輸出、加工技術提携等を検討するためウラジオストクの水産加工施設等を視察し関係者と協議 松江大根島牡丹の植樹活動 ウラジオストク市民にもっと牡丹を身近に感じてもらうため「スハーノフの家博物館」、ロシア正教会等に植樹を実施
2015(H27)年	貿易経済ミッションの派遣 浜田港ロシア貿易発展プロジェクトの一環としてロシア極東への投資の可能性を探るとともに浜田港を活用したロシアへの販路開拓を促進するため官民ミッションを派遣しウラジオストクの商業施設等を視察し関係者と協議 松江大根島牡丹の植樹活動 ウラジオストク市内の教会での植樹の後はじめてサハリンを訪問し郷土史博物館での植樹・牡丹のPRを実施

時 期	概 要
2016(H28)年	<p>島根食品等物産展の開催 日本食品小売店「だんらん」にて島根県産食品（菓子、醤油、青果物等）、工芸品の展示販売を実施</p> <p>日本酒・ワイン・食品の試食商談会の実施 モスクワの日本大使館において現地バイヤー・レストラン関係者向けの商談会を開催</p> <p>松江大根島牡丹の植樹活動 連邦国立子供教育センター「オケアン」にて友好交流 25 周年を記念する植樹を実施</p>
2017(H29)年	<p>経済ミッションの派遣 浜田港ロシア貿易発展プロジェクトの一環としてロシアビジネスの可能性を探るためウラジオストクに官民ミッションを派遣し商談及び市場視察等を実施</p>
2018(H30)年	<p>松江大根島牡丹の植樹活動 ウラジオストク植物園にて牡丹植樹イベント、牡丹展示販売、育て方教室等を開催</p> <p>島根商品のロシア国内販促活動 ロシア郵便事業との日本法人現地アンテナショップを利用した商品販促活動を実施</p>
2019(R元)年	<p>島根商品のロシア国内販促活動 ロシア郵便事業、現地アンテナショップを利用した商品販促活動を実施</p>
2020(R2)年	<p>県内メーカーの介護機器のロシア（ウラジオストク）市場への参入を支援</p>
2021(R3)年	<p>県内 I T 企業とロシア I T 企業との協業を支援 松江大根島牡丹の輸出に向けた植物検疫を支援</p>